

# まちな話題

いろいろな出来事や話題を紹介するコーナーです。皆さんの身近な情報をお寄せください。

〈連絡先〉公聴広報課広報係  
TEL 22-3281  
FAX 22-3124  
Eメール info@city.saiki.oita.jp

祝！「海の駅」  
認定1周年  
遠見山登山道も完成



5月5日と6日の2日間、大入島で「おおにゅうじま島まつり」がありました。これは、同島の遠見山登山道の開通と、里の駅でもある大入島食彩館の「海の駅」認定1周年を記念して開催されたものです。



記念のモチまき

当日は、佐伯市長杯クルーザーレース大会や、「海辺の祭典」と題した島民手作りのイベントなどが行われました。

遠見山は大入島で最も高い山で、昨年、島内外のボランティアの手で石間方面からの登山道を復元。そして、今年4月には堀切の大入島中学校横からの登山道が完成しました。山頂からの眺めは抜群です。皆さんもぜひ登ってみてはいかがでしょうか。



遠見山山頂からの眺め

悲恋に散った二人に  
思いをさせて…



堅田地区で鎮魂供養祭

4月29日、伝統芸能の保存継承に取り組んでいる、比翼塚・長音頭保存の会（田村日出美会長）が、恒例のお為半蔵鎮魂供養祭を行いました。「お為半蔵」とは、江戸時代に身分違いの悲恋の末、心中した男女の物語。長音頭として今に伝えられています。今年は、長年交流のある宮崎県日向市の亀崎地区供養盆踊保存会（黒木章生会長）も参



心中供養塔の前で手を合わせる参加者

加しました。  
この日、参加者は、心中供養塔に線香を上げるなどして、二人の魂を供養しました。

勇壮な舞を  
祭りで熱演



百年を超え伝承する岩戸神楽

4月14日と15日の2日間、蒲江葛原の郷土文化保存伝習所前で、天神社の春祭りが行われました。これは、五穀豊穡を祈願するお祭りです。毎年、地区を挙げて行われています。

当日は、葛原岩戸神楽保存会（甲斐満義会長）が、明治25年に旧大野郡清川村から伝承されたといわれる、御嶽流岩戸神楽を熱演。時に優雅に、時に力強



脈々と受け継がれている御嶽流岩戸神楽

く練り広げられる舞に、見物客は魅了されていました。

レスリング兄弟  
全国大会で優勝



地元の亀井謙吾・竜昇兄弟

このほど、神奈川県で行われた、全日本ジュニアレスリング選手権大会で、地元（八幡・代後区）出身の亀井謙吾選手（日本文理大学）と、日本文理大学附属高校レスリング部に所属する弟の亀井竜昇選手が、兄弟で優勝に輝きました。また、同じ大会に出場した同校レスリング部の磯和樹選手、穂山光選手、増尾優華選手も、それぞれ3位入賞の好成績をおさめました。

4月27日、西嶋市長に優勝報告を行った亀井兄弟の二人は、「兄弟そろって優勝できて、いい親孝行になった」と笑顔で話しました。



これからも頑張ってください

**アユ漁解禁に向け  
稚魚を放流**

番匠川など30カ所

4月26日、番匠川の本流や支流約30カ所、アユの稚魚が放流されました。これは、7月のアユ漁解禁に向け、番匠川漁業協同組合が毎年行っているものです。

この日は、組合員の皆さんがバケツなどを使い、約15万匹を放流。体長約10センチの稚魚は、



元気に川を泳いでいました。

アユ漁解禁のころ体長は15~20cmになります

**春の味覚を  
たっぴりと**

直川でタケノコ掘り体験



4月15日、直川横川の「体験公園亀の甲なおかわ」で、竹の子掘りと山菜取り体験がありました。これは、地元の皆さんで組織する、亀の甲なおかわ運営委員会（竹田英人会長）が主催したものです。

この日は、市内外から親子合



タケノコ掘りに挑戦する子ども

わせて約50人が参加。タケノコ掘りや山菜採りを楽しんだ参加者は、旬の食材をふんだんに使ったご飯や天ぷらに舌鼓を打ちました。

**漁の安全に  
感謝して…**

空の地蔵尊祭り

4月15日、米水津宮野浦で、空の地蔵尊祭りが行われました。これは、1年の漁の安全に感謝し、お地蔵さんを供養する祭りで、毎年、地元の皆さんが行っています。

この日は、寺の住職がお経を上げた後、参拝客に手作りのおにぎりなどが振る舞われ、お地



蔵さんを囲んで、和やかなひとときを過ごしました。

子どもたちも参加してにぎやかに

**大林宣彦監督が  
舞台あいさつ**

映画「22才の別れ」上映会

5月2日、和楽で、映画「22才の別れ」上映会が行われました。この映画は、尾道三部作で知られる大林宣彦監督が、県内各地でロケを行い、作り上げた作品です。

この日は、大林監督と出演者の鈴木聖奈さん、中村美玲さんによる舞台あいさつがありました。来場者は、映画の余韻に浸りながら、撮影時の思い出話などに聴き入っていました。



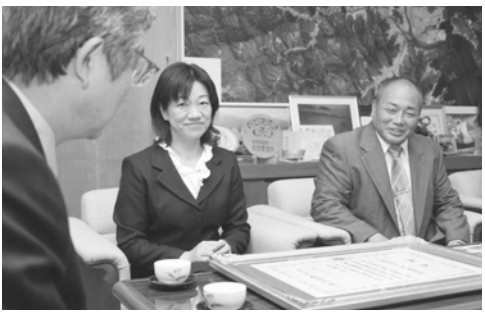
撮影時の思い出を振り返る大林宣彦監督(写真右)

**「来だんせへ市」の活動が  
農林水産大臣賞を受賞**

嶋原がおりさんが笑顔で報告

このほど、東京都で行われた「全国青年・女性漁業者交流大会」で、間越地区活性化推進協議会が取り組む「来だんせへ市」の活動を発表した。同協議会の嶋原かおりさんが、見事、最優秀賞の農林水産大臣賞に輝きました。

4月19日、成松満徳・間越区長とともに、西嶋市長に受賞報告を行った嶋原さんは「皆さんのおかげで大変立派な賞を受賞できた。この賞を励みに、これからも活動を盛り上げ、より多くの人に地元のおいしい海の幸を食べてもらえるよう頑張りたいです」と笑顔で話しました。



受賞報告を行う嶋原かおりさん(写真中央)と成松満徳区長(写真右)